

主な事業と予算	
新潟東港物流団地整備	6億1千円
中小企業振興資金融資および不況対策融資	2億5千万円
農村総合整備	2億212万8千円
地方産業育成資金融資	1億円
商店街近代化資金融資	4千万円

3 特性を活かした魅力ある産業づくり

農業振興

農業支援センターを中心に、農業を活性化するためのさまざまな施策を展開していきます。また、農村部の環境整備として、農村総合整備事業と県営農村自然環境整備事業を引き続き実施します。

農業支援センター
消費者参加の農業振興に取り組み、水田農業経営の確立や地図情報をもとに活用した農地集積の促進、地産地消の拡大などの事業を展開します。

水田の有効利用
大豆、飼料用稲、水稲の輪作体系を奨励します。水田農業経営の確立のため、みんなで助け合い、支えていくシステム作りに努めます。

米の販路拡大
「豊栄米」のブランド確立を図るため、低農薬米や良食味米などの栽培を奨励し、稲作農家の経営安定に向けて支援していきます。

商工業の振興事業

商業タウンマネジメント計画策定事業
中心市街地商業などの活性化を図るため、その事業構想の策定と

推進を担う豊栄市商工会に対し支援を行います。

中小企業振興資金不況対策特別融資利子補給制度
中小企業の経営安定化を支援するため、引き続き実施します。

「観光協会とよさか21」
農業と観光を結び付けたさまざまな取り組みや、インターネット事業、市外へのピーアール活動などに對して引き続き支援します。

企業誘致の優遇措置
新潟東港物流団地等の工業団地に企業誘致を進めるために、優遇措置を拡充します。

新潟東港関連の振興策

新潟東港物流団地整備事業
今年中に造成が完了する予定です。当該区域で、当市の施策に沿った土地利用を図るため、保留地予定地の一部を購入し、企業誘致に取り組みます。昨年、新潟東港でのコンテナ取り扱いは、厳しい社会経済情勢の中、平成十二年と比べて十三・三%の伸びを示しています。

また、今年一月、二月の航路再編で、中国本土との通商が行える航路が増えたことで、国際物流拠点としての環境が整ってきました。

主な事業と予算	
市道改良（環境整備）	2億7,700万円
市道改良（葛塚中学校建設関連）	2億1,480万2千円
市道改良（一般土木）	1億7,000万円
市道維持管理	1億3,600万円
日本海東北自動車道豊栄インター周辺整備	7,075万円

4 快適で調和のとれた環境づくり

道路整備

日本海東北自動車道
五月二十六日(日)に新潟空港インターチェンジから聖籠新発田インターチェンジまでが開通し、さらに十一月には、聖籠新発田インターチェンジから中条インターチェンジまでが開通する予定です。

沿線市町村では、高速道路の開通を記念し、五月十二日(日)に歩行者と自転車の乗り入れができるイベントを共同で企画しています。

また、この高速道路の豊栄新潟東港インターチェンジにつながる主要地方道新潟大外環状線は、国道七号新新バイパス豊栄インターチェンジから法花鳥屋(ほつけどや)地内の主要地方道新発田豊栄線までの区間が、高速道路開通の前日に開通する予定です。



建設中の新潟大外環状線

JR豊栄駅周辺整備事業

豊栄駅の橋上化を含めた豊栄駅周辺整備事業に着手することとし、今年度は、調査と基本設計業務を行います。工事の着手は平成十六年度を予定しています。

市街地整備

豊栄インター南土地画整理事業の造成工事は、今年度末にほぼ完成し、今年中に一部の土地の使用が開始される見通しです。

生活環境関係

身近な生活環境に対する苦情が激増しています。このような苦情の処理や改善をするために、地域との連携を深め、生活環境の向上に努めます。

また、ごみの減量化対策、最終処分場の延命策や、し尿くみ取り業の経営適正化計画の検討と実施に努めます。

地域コミュニティの育成

葛塚地区と早通地区にコミュニティバス配置

地域コミュニティの育成

地域コミュニティ
「暮らしに活力を、子どもに元気を」というテーマが形となって現れるよう、地域コミュニティ活動を支援します。また、地域コミュニティの活動が一段と活発に展開されるよう、コミュニティ推進車として軽自動車を各地区コミュニティセンターに配置します。現在中央公民館内にある葛塚コミュニティセンターを「ふれあいセンター」に移し、葛塚地区の地域コミュニティの支援拠点とします。

コミュニティバス
新たに葛塚地区と早通地区に配置し、当該地区の地域コミュニティの育成に役立ててもらいます。

福島潟自然学習 振興事業

県立「環境と人間のふれあい館」と連携を図りながら、小・中学生や高校生から「環境学習なら福島潟へ」と言われるような環境学習プログラムの展開を図ります。

移動図書館車事業

昨年度に配置した移動図書館車

「ブックバスしらかし」は市内十四校を巡回しています。今後も充実を図り、子どもたちの読書活動を推進します。

学校における地域コミュニティ育成事業



住民管理による学校プールの開放、地域と一緒に取り組む「ピオトープ」や「学校の森づくり」など、「どきどき学校委員会」による地域に根ざした特色ある学校づくりを推進します。

パートナーシップ 育成事業

NPO法人豊栄グラウンドワーク実行委員会に委託し、地域の身近な環境改善活動を地域コミュニティとの連携を図りながら実施するとともに、グラウンドワークの理念である「新たな社会システムづくり」を目指します。

農業活性化事業

農業者のリーダー層で構成する農業推進会議を中心に、活性化策の具体案を検討していただくとともに、それを自ら実践していただきます。これに加え、農業者の経営管理能力向上のための研修事業、米以外の作物を取り入れた水田農業確立のためのシステム確立支援事業、地区営農プラン策定実証事業や耕畜連携による環境保全型農業の実証事業などを推進します。

商工業活性化事業

豊栄市商工会、NCO豊栄工業団地協同組合、商工業組合などとの協議をしながら、「商工業等の振興とまちづくりの地域活性化」のための特別支援を積極的に活用していただけるよう努めます。また、中心市街地活性化基本計画を実施するため、商店街連合会などが取り組む共同宅配事業やにぎわい創出事業などの事業を支援します。